

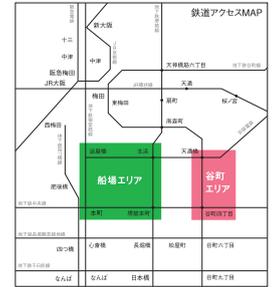
# 大阪時間

## 会場マップ

### ■注意事項

- \*大阪府立現代美術センター以外の各会場については、休館日のある所があります。詳細は各展示場所の情報をご確認ください。
- \*来場の際は、公共交通機関をご利用ください。
- \*展示場所以外への立入はご遠慮ください。また周辺のご迷惑とならないようご鑑賞ください。
- \*展示会場内での飲食・喫煙はご遠慮ください。

- \*展示作品にはお手を触れないでください。
  - \*この情報は「大阪・アート・カレイドスコープ2008」展の開催期間限定のものです。
  - \*その他、詳細はウェブサイトをご覧ください。
- <http://www.osaka-art.jp/>



MAP上の表記  
 - - - 会場への導線  
 ● 出口表記  
 ○ 交差点名

# 1 東横堀緑道

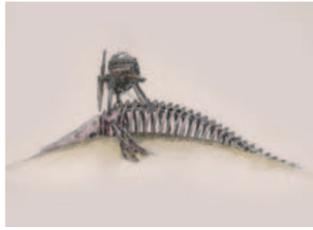
Higashi Yokobori Riverside



大阪市中央区高麗橋1丁目～平野町1丁目

●地下鉄堺筋線・京阪「北浜」駅5号出口を出て、「高麗橋1」交差点を東へ200m。

1-a



“ROBO Whale” プランスケッチ

作家：國府理 Osamu Kokufu

作品名：ROBO Whale

縄文時代、船場や東横堀川近辺は海に覆われていたためクジラやイルカの骨が多数出土しています。そんな場所に背中にエンジンを携えたクジラが出現。かつて大阪の玄関口だった橋の袂に眠るこのクジラ。太古の名残か、現代文明の遺物か…。帰る海を失くしたクジラがどこかへ飛び立とうとしている姿は様々な思いを運んできます。【展示場所：MAP 1-a】

1-b



“プレートテクトニクス・AKASO” 2007年

作家：原田明夫 Akio Harada

作品名：海音川 ringing river

5世紀頃まで、大阪市中心部のほとんどのエリアは海でした。東横堀川をかつての陸と海の境界線と捉えたこの作品では、特定の区域に近づくとどこからか海の音が聞こえてきます。海におおわれていた太古の大地の記憶に、じっと耳をかたむけてみませんか。【展示場所：MAP 1-b】

\*音のみの作品です。  
サウンドデザイン／宮岡和寛

【展示場所】河川公園内（高麗橋～平野橋の間）

【鑑賞時間】10:00～18:00

# 船場エリア

## 2 大阪証券取引所ビル

Osaka Securities Exchange Building



©大阪証券取引所ビル

大阪市中央区北浜1-8-16

●地下鉄堺筋線・京阪「北浜」駅直結。地下鉄御堂筋線「淀屋橋」駅地下道で直結約500m、徒歩約7分。

【展示場所】1階アトリウムからもアトリウムに入場可能。

【鑑賞時間】10:00～18:00



“Parascope” 2001年（撮影：上野則宏）

作家：松井紫朗 Shiro Matsui

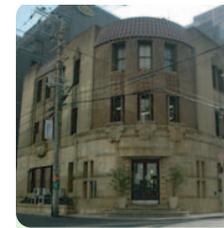
作品名：The Inside's Outside

経済活動の拠点である証券取引所ビルのアトリウムに太閤さんの旗印“千成瓢箪”を思わせるバルーンがたなびきます。このバルーン、建物の外部と直接つながり、外気をとりこむことにより、絶妙のバランスでふくらんでいます。それはまるで外部空間がバルーンの内部に侵入しているかのよう。堅牢なビルに開けられた“風穴”が建築空間のみならず、私たちの意識までも大きく揺さぶります。

※地下鉄北浜駅から連絡通路あり。1階

## 3 芝川ビル

Shibakawa Building



大阪市中央区伏見町3-3-3

●地下鉄御堂筋線「淀屋橋」駅11号出口から徒歩約1分。

屋上にてカレイドスコープ期間限定  
カフェオープン！（期間中無休）  
**SOZ CAFE**  
SOZ・RIVE GAUCHE

【営業時間】  
月～木：11:00～19:00  
（ラストオーダー18:00）  
金・土・日・祝日：11:00～23:00  
（ラストオーダー22:00）  
18:00～バータイム。  
オリジナルフードのおつまみどうぞ。

◇ビル1階正面玄関はラストオーダー以降閉鎖。

【展示場所】屋上 ※階段で4階へ。

【鑑賞時間】10:00～18:00 ◆18:00以降、カフェ営業時間内は屋外展示のみご鑑賞いただけます。



“ヴァリアント”（参考イメージ）2008年

作家：かなもりゆうこ Yuko Kanamori

作品名：ヴァリアント

（“さまよいつづけて” variant - for shibakawa bldg.）

かつて家政学校があった芝川ビル。このビルでの撮り下ろし映像を中心に作品は展開します。“いとはん”たちがここに通った「大大阪」時代から現代まで、女性たちは時代とともに変容しながらも、ひとりの“個”であろうと生きてきました。昔も今も変わらない、女性たちが紡いできた強く優しい時間の“かけらたち”は今もきっとどこかに降り積もっている…。

## 4 伏見ビル

Fushimi Building



大阪市中央区伏見町2-2-3  
●地下鉄堺筋線・京阪「北浜」駅6号出口から徒歩約3分。地下鉄御堂筋線「淀屋橋」駅11号出口から東へ徒歩約7分。



“Picnic on the Ocean” 2002年 (撮影:平山照一)

作家: 村井啓乗 Hironori Murai  
作品名: reflection—a work for Picnic on the Ocean—  
ビルのシンボルである梅鉢には、ここを愛し守り続けてきたオーナーによって常に花が生けられています。花(=HANA)は韓国語で“ひとつ”の意味。そこで日韓の作家が“ひとつ”になり海上でピクニックをするというプロジェクトの象徴となるオブジェを展示。さらに期間中、オーナーと作家が協働で花を生け梅鉢を彩ります。“花”による新たな交流の記憶が生まれることになるでしょう。

【展示場所】1階正面エントランススペース  
【鑑賞時間】10:00—18:00

## 5 大阪ガスビルディング

Osaka Gas Building



写真提供:大阪ガス(株)

大阪市中央区平野町4-1-2  
●地下鉄御堂筋線「淀屋橋」駅13号出口から南へ徒歩約3分、同「本町」駅2号出口から北へ徒歩約7分。京阪「淀屋橋」駅3号出口から南へ徒歩約12分。



“2006年 夏 夏 阪急電車梅田方面行き車内にて” 2007年

作家: 瓜生昭太 Shouta Uriu  
作品名: 「2008年 冬 朝 大阪ガスビル食堂にて」「1933年 大阪ガスビル食堂からの展望」  
先進的な生活スタイルを紹介し、人々の憧れを集めたガスビル。そこで今も営業を続けるガスビル食堂は、開業当初から変わらない“おもてなし”のスタイルを守り続けています。立体像と背景を組み合わせ、日常のリアリティを独得の手法で切り取る作品は、変わりゆく街と、その変遷に流されることのない人々の営為を、働く人の日常の姿の中に浮かび上がらせませす。

【展示場所】南東角ピロティ  
【鑑賞時間】10:00—18:00 ◆土日祝は終日シャッターが閉まっています  
が、シャッター越しに作品の正面のみご覧いただけます。

## 6 北野家住宅

Kitano's House



大阪市中央区平野町4-2-6  
●地下鉄御堂筋線「淀屋橋」駅13号出口から南へ徒歩約3分、同「本町」駅2号出口から北へ徒歩約7分。



“うつしかがみ”(部分) 2007年 (撮影:野口浩史)

作家: 石塚沙矢香 Sayaka Ishizuka  
作品名: ささやきたち  
ありし日の近代商家の姿を今に残す北野家住宅。焼夷弾を受けながらも奇跡的に焼け残った築80年の建物には濃密な空気が漂い、ここでの商家の生活を支えた物たち—算盤(そろばん)や掛取帳、升、荷袋といった道具が当時のまま残されています。かつて親族が集ったという応接間を舞台に、これら道具が見守ってきた時間をよみがえらせます。

【展示場所】2階和室 ※左手奥の階段で2階へ。  
【鑑賞時間】10:00—18:00 (月・火休み)  
※場合により、入場の人数制限があります。

# 船場エリア

## 7 船場ビルディング

Senba Building



“無題” 2005年

大阪市中央区淡路町2-5-8

●地下鉄御堂筋線「本町」駅、地下鉄堺筋線「堺筋本町」駅下車徒歩約10分。

作家：行武治美 Harumi Yukutake

作品名：無題

屋上テラスの床一面をおおう丸くカットされた細胞のような鏡。ひとつひとつに空や周りの風景が映り込み、天地を反転させます。ビル入居者の方々に愛される船場ビル憩いのテラスが、まるで自然と一体になったガラスの細胞で息づいているかのようです。

【展示場所】5階東側屋上 ※入口(自動扉)から入り左側階段横のエレベーターにて5階まで。左手奥の扉より屋上へ。

【鑑賞時間】10:00-18:00

## 8 綿業会館

Mengyo Kaikan



銅版画イメージ

大阪市中央区備後町2-5-8

●地下鉄御堂筋線「本町」駅1号または3号出口から徒歩約5分。地下鉄堺筋線「堺筋本町」駅17号または12号出口から徒歩約5分。

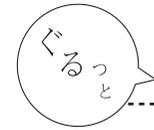
作家：大坪麻衣子 Maiko Otsubo

作品名：linkage：記憶の連鎖

戦禍にも耐え、“大大阪時代”の壮麗な姿を今に伝える綿業会館。その姿は歴史の重みと街の記憶を今に伝えます。外壁フェンスに取り付けられた銅版画のひとつひとつには、その歴史や大阪の街から紡がれた記憶の断片が描かれています。銅の輝きが時とともに変化するように、作品に向かい合う私たちにも様々ないろどりの思い出が寄せてくるかもしれません。

【展示場所】建物正面および南側フェンス部分

※会館内には入らないでください。



モデルコース【全会場】

カレイドスコープ巡り

【所要時間 約3時間】

船場エリアからスタート

2 大阪証券取引所ビル

徒歩 [約15分]

1 東横堀緑道

徒歩 [約10分]

4 伏見ビル

徒歩 [約10分]

3 芝川ビル

徒歩 [約10分]

5 大阪ガスビルディング

6 北野家住宅

徒歩 [約10分]

7 船場ビルディング

徒歩 [約5分]

谷町エリアからスタート

9 大阪府立現代美術センター

徒歩 [約15分]

10 難波宮跡史跡公園

大阪府営地下鉄中央線  
「谷町四丁目」駅

地下鉄 [約5分]

大阪府営地下鉄中央線  
「堺筋本町」駅

徒歩 [約15分]

8 綿業会館

## 9 大阪府立現代美術センター

Osaka Contemporary Art Center



大阪市中央区大手前3-1-43  
大阪府新別館

●地下鉄谷町線・中央線「谷町四丁目」駅下車1A出口方向徒歩約3分。京阪「天満橋」駅下車東出口から南へ徒歩約12分。

[映像] (展示室A)

大正時代から現代までの、大阪を活写した当時の映像上映します。(資料提供:大阪市)

- ・大正観光(昭和12年)
- ・大阪市ニュース(昭和20年代~50年代)



“work-08n” 1997~1998年 (撮影:安斎理男)

作家: 三島喜美代 Kimiyo Mishima

作品名: work 08-k

展示室に出現した新聞の山の迷路?をたどれば、いつしか「大正」時代へ迷い込んだかのように。空間を埋め尽くす「新聞」の圧迫感は、日々膨大な情報にさらされている私たちが置かれている状況をも思い起こさせます。私たちが生きていくために必要な情報とは?

[展示場所: MAP 9-A]



“覚醒する時間” 2003年 (撮影:武藤滋生)

作家: 土屋高雄 Kimio Tsuchiya

作品名: 時の集積

空間一杯に浮遊する無数の時計がそれぞれに時を刻む様は、この街に生きる個々人の固有の時間を表すかのよう。個人の記憶は単なる過去の断片の蓄積ではなく、日々を生きる身体の中かで何度も新しく生成され、創造の源となるものです。無数の時計の音に先人たちが歴史を切り開いてきた響きが聞こえるでしょうか。

[展示場所: MAP 9-B]

[展示場所] 展示室A・展示室B

[開館時間] 10:00-18:00

## 谷町エリア

## 10 難波宮跡史跡公園

Naniwanomiya Historic Park



大阪市中央区法円坂1

●地下鉄谷町線・中央線「谷町四丁目」駅10号出口を出て中央大通り沿いに東へ徒歩約5分。

[展示場所] 公園敷地内

[鑑賞時間] 10:00-18:00 ※鑑賞時間以外は安全確保のため、作品周辺に囲いをしています。



“view” プラントスケッチ

作家: 平丸陽子 Yoko Hiramaru

作品名: “view”

赤い柱を支えられた八角形の藤棚。難波宮の八角殿跡とされるその藤棚は、時を告げる“鐘楼”であったという説があります。ここに千個もの鈴を色とりどりの布に吊り下げ、華やかな難波宮の光景を蘇らせます。風に揺られて鳴る鈴の音は都に響き渡る鐘の音を、鮮やかな色彩は色とりどりの着物を着た人々が行き交う風景を想起させます。 [展示場所: MAP 10-a]



“EPITAPH-円筒上の” 1990年

作家: 遠藤利克 Toshikatsu Endo

作品名: Trieb-神殿III-NANIWANOMIYA

飛鳥時代(7世紀)と奈良時代(8世紀)に宮廷がおかれていた難波宮は政治、外交、祭祀の中心として栄えました。火や水、大地といった素材を作品に用い、人間の持つ根源的な力を追求してきた作家が、難波宮をさかのぼる遙か数千年前、政、葬、祭祀が分かちがたく存在していたであろう太古の生の営みに迫ります。

[展示場所: MAP 10-b]



“—” プラントスケッチ

作家: 日本工業大学小川研究室

Ogawa Laboratory, Department of Architecture, Nippon Institute of Technology

作品名: —

いくつもの棒で組み立てられたオブジェ。少し離れて見ると棒が浮遊しているように見え、まるで時が止まったかのよう。日が暮れると今度は蛍のような淡い光を放ち始めます。いにしへの都を行き交っていた人たちの魂が舞い降りてきたのでしょうか。宮殿の跡地に現れる不思議な時空間をご体感ください。 [展示場所: MAP 10-c]

\*周囲が暗くなると光り始めます。